

平成26年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		帰宅困難者対策(こども園)				所管	教育委員会 学務課			
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 平成 2 5 年度 [終了予定] - 年度	
		[小 柱]								
		[施 策]								
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都帰宅困難者対策条例						
	事業対象	台東区認定こども園の在園児及び職員								
	事業目的	災害発生時において、保護者が迎えに来られない園児を安全に園で預かる体制を整備する。								
	事業内容	東京帰宅困難者対策条例に基づいて、災害時用の備蓄食料、飲料水等を整備する。								
委託の有無	なし	委託内容								
補助金の有無	都									
<b>事務事業の実績</b>	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度			
	活動指標	食糧買入れ数	食	855	-	-	957			
		成果指標	備蓄食糧数	食	3,000	-	-	957		
	決算額 (単位：千円)					-	-	392		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)				-	-	426		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				-	-	392		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				-	-	0		
		総経費				-	-	818		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				-	-	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				-	-	164		
一般財源(区負担額)				-	-	654				
前年度から改善した事項	平成25年度新規事業である。									
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由								
	必要性	3	保護者が安心して子どもを預けることができる体制を整える必要がある。							
	効率性	3	年齢や預かり区分を考慮し必要数を算出し、経費の削減に努めた。							
	手段の適切性	3	関係課と調整を行い、必要な物を整備している。							
	目的達成度	4	毎年度、計画的に整備を進めている。							
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了			
災害時において、保護者が迎えに来るまでの間、園児の安全を確保するため、引き続き整備は必要である。						維持				